

交通事故負傷者救助に協力

蘇南高3年6人に木曽広域消防本部が感謝状

南木曽

木曽広域消防本部は二十六日、南木曽町の蘇南高校で、交通事故の救急活動に協力した同校の三年生六人に感謝状を贈った。

(鈴木隆一)

「これからも人の力に」

六人は大畑竣平さん、木さん、常盤井湧之介さん、村美桜さん、佐々木ゆりか、橋詰翔さん、山田紗妃さん



交通事故の救急活動に協力し、感謝状を受け取った生徒ら＝南木曽町の蘇南高で

ん。

事故は五月十五日午後五時ごろ、同町読書の国道19号で発生。停車中のバイクにワゴン車が追突し、バイクの男性が負傷した。下校中だった生徒たちは、事故の音を聞いて現場に駆けつけ、119番で救急車を要請。負傷者が雨にぬれないよう、傘を差して付き添った。救急隊員が到着後も傘を差し続け、負傷者の体温低下防止や早期搬送に貢献した。

生徒一人一人に感謝状を手渡した石其正消防長は「見て見ぬふりやわれ関せずと通り過ぎる人もいる中、協力してくれて非常にうれしいし頼もしい。けが人や困った人に手を差し伸べられる社会人になってほしい」と語りかけた。

六人は「腰を押さえた人が地べたに寝転がっていた」「どうすればいいのかわからなかったが、ほうつてはおけなかった」と当時を振り返り、「これからも助けが必要な人の力になりたい」と声をそろえた。